

今年の花粉症の治療

2月に入るとスギ花粉症が始まります。
例年2月～5月がスギ花粉症のシーズンです。
昨年はスギ花粉の飛散量がとても多く、くしゃみ、鼻水、鼻づまりで、ずいぶん困った、悩んだ方も多かったでしょう。
今年のスギ花粉の飛散量は少なく、一昨年とほぼ同等と推測されています。
1月下旬から、すでに花粉症が始まっている方もおられ、内服薬、点鼻薬を希望されています。



花粉症の症状は・・・

①くしゃみ ②鼻水 ③鼻づまり です。

今年から症状が出始める人もいます。
最近では低年齢化しており、2歳頃から発症します。

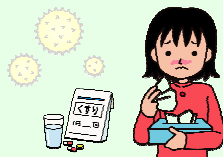
今年の作戦は・・・

- ①漢方優先の方法
- ②西洋薬優先の方法
- ①+②の3つを考えています。

具体的には・・・

- ①麻黄湯(まおうとう)
葛根湯加川芎辛夷(かっこんとうかせんきゅうしんい)
小青竜湯(しょうせいりゅうとう)
麻黄附子細辛湯(まおうぶしさいしんとう)
- ②抗ヒスタミン薬 → アレジオン、ジルテック、アレロック
抗ロイコトリエン薬 → オノン、キプレス
+ 点鼻薬、点眼薬を使用します。

参考：大人の方で超重症例にはステロイドの内服を行います。
(小児ではまずやりません)



インフルエンザ情報

現在インフルエンザA型が流行しています。
A型には「A香港型」と「新型のA型」の2種類があります。
発熱、咳、鼻汁、関節痛、全身倦怠感が有名な症状です。
新型のA型では、腹痛、嘔吐、下痢などの消化器症状が伴うことがあります。
例年の経験からはあと1ヶ月くらいはインフルエンザに注意です。



お知らせ

< 小児夜間急病センター当番日 >

2月9日(木) 19:30～22:30(受付) 岐阜市民病院にて

< なかしまこども健康セミナー >

2月18日(土)13:30～ クリニック外来にて
「何ともないのに血圧の薬を飲まなくちゃいけないんですか？」
～何ともないのが異常なんです。予防について考えましょう。～

今回の健康セミナーは岐阜市で内科を開業されている先生をお招きし、生活習慣病である血圧の病気・予防について、お話しさせていただきます。
参加は無料ですので、是非ご参加ください。

